

学校運営協議会 会議実施報告書

- 1 会議名 揖斐高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和6年11月14日(木) 13:30~15:30
- 3 開催場所 揖斐高等学校 校長室
開催にあたり、委員による授業参観(2年生進路ガイダンス)を実施した。
- 4 参加者
- | | | |
|-----|-------|--------------------|
| 会長 | 長沼健治郎 | 本校同窓会会長 |
| 副会長 | 東 三紀 | 本校PTA会長 |
| 委員 | 新川利都子 | 本校PTA副会長 |
| | 服部 均 | 揖斐川町商工会会長 |
| | 野村 茂雄 | J Aいび川代表理事専務 |
| | 保井 円 | 大和神社宮司 |
| | 高木 智明 | 元揖斐郡小中校長会長 |
| | 鈴木留理子 | 西濃厚生病院看護師 |
| | 高橋 真紀 | 揖斐川町住民福祉部健康福祉課課長補佐 |
-
- | | | |
|-----|-------|-----|
| 学校側 | 種田 昭彦 | 校長 |
| | 豊吉 利之 | 教頭 |
| | 河田 禎彦 | 事務長 |

5 会議の概要(協議事項)

(1) 学校評価アンケートの結果について

- ・学校評価アンケート(保護者・学校運営協議会委員及び生徒)の結果について説明する。

意見1:「授業内容について信頼できる先生が多い。」「授業の教え方や説明が分かりやすい先生が多い。」の項目に対して肯定的に回答している生徒の割合が高い。授業を参観した際、本校の教員は工夫をした授業を実践しており、この評価は教員への励みになるのではないかと。

意見2:「地震や台風等の場合の対応についての対策マニュアルを示し、説明している。」の項目に対して保護者・生徒ともに肯定的に回答している割合が高い。本校は気象警報への対応も早いので保護者としても安心感がある。

意見3:アンケートの結果を見ると、生徒は学校の教育活動に対してよい評価をしているので、保護者に対してこの結果を根拠として様々な機会でも周知できるとよいのではないかと。

意見4:アンケートの対象となる集団が毎年変わっていくので、数字を経年で見ても同じように比較はできない。経年比較による数字の僅かな差に振り回されることなく、目の前にいる生徒と接したときの感覚を大切にしてほしい。

意見5：「保護者・学校運営協議会委員」を対象としたアンケートの項目は、質問されても回答することが難しいものもある。また、項目数も多いため精査することが必要ではないか。

(2) スクールミッションの策定について

・スクールミッション（案）を説明する。

意見6：地域社会を形成する「担い手」の意味は分かるが「創り手」はどういうことか。

⇒地域に新たな産業を興す人材や、現在地域にある産業を進化させる人材を想定している。

意見7：介護、医療、農業など現在地域にある産業は絶えず変化している。未来に向けて産業を進化させていくという意味において「創り手」はよい表現である。

意見8：AIの進化により今後社会が大きく変化していく中で、生徒が自分自身の将来を想像し、どの分野で力を発揮するかが大切である。スクールミッション（案）の「創る」という発想はよい。

意見9：揖斐川町の自然・文化・産業など、私たちが普通だと思って生活している環境は、外から見ると魅力的で宝の山だとも言える。本校の生徒には、地域の現在の価値に気付いた上で新たな価値を創造してほしい。

6 会議のまとめ

(1) 学校評価アンケートの結果については、様々な視点から得られた意見を参考に学校経営に反映させていくことを確認した。

(2) スクールミッション（案）は、全会一致で承認された。

(3) 第3回は令和7年1月～2月に開催予定。